

事業の内容

事業目的・概要

- 新型コロナウイルス感染症の流行が世界各地で発生し、大きな問題となっています。現時点においては、世界と比較して日本国内の感染者数は少ないものの増加傾向にあり、長期的対応及びオーバーシュート（爆発的感染）の可能性も含め、状況に応じた多様な対応が求められています。
- 一方、5月25日に緊急事態宣言が解除され、5月29日に新型コロナウイルス感染症対策専門家会議から「次なる波に備えた安全・安心のためのビジョン」が示されています。
- こうした状況を踏まえ、新型コロナウイルス等感染症から国民を守るために、感染症対策に資する医療機器・システム等の社会実装を推進します。また、感染症対策技術の開発環境の拡充を推進します。

成果目標

- 新型コロナウイルス等感染症の感染拡大の防止をするための対策（特に感染症の予防対策）に係る医療機器・システム等の有用性を実証することを目指します。また、感染症対策技術の有用性等の新たな評価系構築を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

対象課題の事例

- (1) ウイルス等感染症対策に資する医療機器・システム等の実証・改良研究支援（感染拡大の防止をするための対策）
- 医療機関、高齢者施設、オフィス、学校、家庭、店舗内等の閉鎖空間におけるクラスター感染を予防する技術
- 感染症の発生、感染の早期発見、感染拡大、感染経路、濃厚接触者、あるいは集団免疫の獲得等を把握等することにより感染予防に資する技術
- 飛沫感染や空気感染等の感染プロセスの効果的抑止を実現する技術
- 行動変容による感染予防に資する技術
- (2) ウイルス等感染症対策に資する医療機器・システム等の有効性等を評価する技術開発に関する取り組み支援
- 空間中の特定ウイルスの濃度の測定技術
- 拡散防止措置上、P3レベルで測定すべきものをP2レベルにクラスダウンできる評価技術など
- ウイルス等の感染力を評価するための技術
- 表面形状によらずウイルス等の不活化等を評価できる技術